



大阪市立 巽中学校

校長名 河原 倫生
所在地 〒544-0013 生野区巽中3-17-20
電話 06-6757-0001 FAX 06-6757-0897
URL <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j672486>



教育目標

人間尊重の精神を基盤とし、一人一人の生徒が心豊かに力強く生き抜く人材となる基盤をはぐくむための教育を推進する。

重点目標

- ・授業を大切に、基礎学力・学習習慣の定着を図る。
- ・家庭と協力し、規則正しい生活習慣を確立する。
- ・お互いを認め合い、支え合う集団を育成する。
- ・全教育活動を通じ、コミュニケーション能力の向上を図る。
- ・学校・家庭・地域の連携を深め、教育活動を推進する。

標準服

有

教育方針

主体的に学び、心身ともに強く明るい子どもを育成する。



令和4年度全国学力・学習状況調査

平均正答率 (%)	国語	数学	理科
	59	45	40

結果概要

<国語> 全国と比較して-10点、大阪市と比較して-7点であった。問題別の正答率を分析すると、多くの問題で全国・大阪市を「下回る」なか、選択式は比較的正答率が高い。また、行書は全体的に高い正答率であった。

<数学> 全国と比較して-6.4点、大阪市と比較して-5点であった。基礎的な計算、グラフの読み取り等はできている。論理的思考力、表現力が課題であった。

<理科> 全国と比較して-9.3点、大阪市と比較して-6点であった。多くの問題で全国・大阪市を「下回る」なか、正答率の高い問題が3問あった。思考力(想像力)が必要な問いの回答率が低い状況であった。

自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

授業時間以外の学習時間で最も多いのが「1～2時間」で39.7%である。特に「まったくしない」が14.1%となっている。学習する意識を高め、家庭学習、自学自習を定着させていくことが学力向上への課題である。また、読書を推奨して機会あるごとに本に慣れ親しみ、読解力・想像力・思考力を高めていくことにつなげる。

令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

種目別平均値 ※持久走と20mシャトルランのうち、20mシャトルランを選択して実施した。

性別	握力 (kg)	上体起こし (回数)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	持久走 (秒)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	体力合計点
男子	30.68	29.34	52.91	53.63	—	90.43	8.12	202.78	24.70	48.50
女子	22.63	22.07	52.44	46.74	—	53.89	9.18	173.59	12.35	49.12

結果概要

・体力合計点は、男子48.50点、女子49.12点(R3年度は男子43.21点、女子45.89点)となり昨年度よりも上がった。

・年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合が68.4%となり、目標の50%を大きく上回ることができた。

自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

- ・各学年、学期初めに集団行動に取り組むことにより、生徒たちは秩序を守り、安全面もしっかり考えて体育的活動が行われている。日々の授業でラジオ体操や補強トレーニングを継続的に行っている。
- ・水泳の授業において、泳力別にプログラムを実施して、個々生徒の努力もあり泳力アップ、スピードアップ、正しいフォームの獲得を目標に取り組んだ。
- ・全国体力・運動能力、運動習慣調査において、シャトルランと体力合計点が今後も全国平均を上回れるように継続していきたい。

卒業後の進路

過去3年間で進学者数の多い学校を、国公立・私立等別に五十音順に記載しています。学校名の後ろに過去3年間の進学者数の累計を記載しています。

過去3年間の卒業者数	令和4年度	91	令和3年度	101	令和2年度	103
------------	-------	----	-------	-----	-------	-----

【国公立】

阿倍野 (4) 市岡 今宮工科 大阪府教育センター附属 (4) 大阪わかば(勝山・桃谷) (9) 大塚 (4) 高津 (4) 港南造形 堺西住吉 (6) 成城 (8) 泉北 大正白稜 長吉 (2) 西成 (2) 西野田工科 (2) 花園 (2) 阪南 (10) 東住吉 (4) 東住吉総合 (11) 枚岡樟風 (2) 布施 (13) 布施北 (4) 布施工科 (6) 茨田 松原 (2) 三国丘 港 (11) 桃谷 (通信制・定時制夜間) (6) 八尾 (3) 八尾北 (7) 八尾翠翔 (2) 生野工業 (5) 大阪ビジネスフロンティア (7) 工芸 (3) 桜宮 (2) 水都国際 住吉商業 (2) 汎愛 (3) 南 都島工業 (2) 淀商業 (3)

【私立および大阪府外校など】

アナン学園 あべの翔学 (6) 上宮 (5) 追手門学院大手前 (2) 大阪偕星学園 (2) 大阪学院大学 (2) 大阪学芸 (4) 大阪国際滝井 大阪産業大学附属 (7) 大阪商業大学 (10) 大阪信愛学院 大阪成蹊女子 大阪体育大学浪商 大阪電気通信大学 (2) 大阪桐蔭 大阪夕陽丘学園 (7) 関西大学北陽 (3) 近畿大学附属 (2) 金蘭会 興國 (8) 好文学園女子 (2) 金光藤蔭 (7) 四條畷学園 (2) 樟蔭 常翔学園 城南学園 (2) 昇陽 (2) 帝塚山学院 東海大学付属大阪仰星 (2) 長尾谷 浪速 (2) 初芝立命館 (5) 阪南大学 (2) 東大阪大学敬愛 明浄学院 (2) ルネサンス大阪 (2) 東大阪市立日新 (2) 東朋 (2) 生野支援 たまがわ高等支援 奈良育英 宮崎日本大学 石川星稜 OIC高等専修 (2) 和歌山工業高等専門学校 桜和 鹿島学園 石見智翠館 東海大学付属静岡翔洋 大阪工業高等専門学校 (2) おおぞら高等学院 (3)

校長先生のメッセージ

令和5年度、校長として赴任いたしました河原倫生でございます。巽中学校では、教育方針である「主体的に学び、心身ともに強く明るい子どもを育成する」を目指し、「チーム巽」で教職員一同、子どもたちのために全力で教育活動に取り組んでまいります。私自身、慣れ親しんだ地域で、地域、保護者の皆様方と連携しながら、一緒に子どもたちを見守り、励ましていきたいと考えております。本校の大きな特色の一つに民族学級をはじめとした国際クラブがあり、多文化共生教育は大きな柱となっております。日々の授業、学校行事、学年・学級活動、部活動等において積極的に取り組み、歴史と伝統を引き継ぎながら、さらに学校力の向上を図ってまいります。

運営に関する計画

● 計画のエッセンス

問題解決力を育成するため、以下の取り組みを行います。

- ①コミュニケーション能力の向上
- ②基礎学力・学習習慣の定着
- ③時間を守る生活習慣の徹底
- ④生徒のチャレンジの機会の増加
- ⑤グローバル社会に対応した学力
- ⑥自己のアイデンティティの確立
- ⑦基礎体力の向上
- ⑧外部の人材や資源の積極活用
- ⑨学校の信頼度の向上
- ⑩時代の変化に対応した学校改革

● 中期目標、年度目標等

【安全・安心な教育の推進】

年度末の校内調査における「学校での生活が楽しい」に対して、肯定的な回答をする生徒の割合を85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

年度末の校内調査における「学校の授業はわかりやすいですか」に対して、肯定的な回答をする生徒の割合を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

月1回のゆとりの日を設定し、教職員の時間外勤務を昨年度よりも減少させる。

【特色ある学習活動】 および 「家庭・地域等との連携」

特色ある学習活動

● 国際クラブ（多文化共生教育）

月曜日の放課後の時間を使用し、国際クラブの活動を行っています。韓国・朝鮮にルーツのある生徒が集まるウリ文化部、中国にルーツのある生徒が集まる中国学級、ベトナムにルーツのある生徒のベトナム学級、その他で他国にルーツのある生徒は多文化学級で学習や体験を行っています。

4月にソンセンニムより国際クラブについての説明(講話)があり、「自分のルーツについてのさまざまな知識を得ることで、木でいう根っこを頑丈なものにすることができます。」「国際クラブという場所が、みなさんの根っこをより大きく丈夫なものにできる場所になればいいと思います。」(ソンセンニムより)

家庭・地域等との連携

● 自主学習会

校内では水曜日を除く毎日、放課後学習会（学校元気アップ地域本部事業の取組を含む）を図書室・学習室を利用して行っています。長期休業中の学習会と合わせて生徒たちが自主的に学ぶ場（学習場）として活用されています。

校外でも元気アップ地域本部事業の取組として、地域の会館を会場として土曜日自主学習会を開催しています。大学生や地域の方にも参加していただき、学習を通じて交流することは、学習への意欲を高める良い機会となっています。



特色ある学習活動

● 部活動の充実

本校では多く部活動が盛んに活動、精力的に取り組んでいます。また、様々な大会や催し物に参加し、素晴らしい結果を残すなどの活躍をしています。



給食（パン食とご飯食の例）



4月対面式の様子